

専門（保育士）

社会福祉

社会福祉の専門職に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 社会福祉士は、日本で最初の社会福祉専門職の国家資格であり、社会生活上の問題を抱える者に対して相談業務を行う。
2. 介護福祉士は、身体上障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者を対象に、専門的な知識を活用し、身体の状態に応じた要介護認定を主に行う。
3. 精神保健福祉士は、業務独占の国家資格であり、精神障害の程度を判定し、精神障害者保健福祉手帳を交付する。
4. 訪問介護員（ホームヘルパー）は、要介護者の家庭を訪問し、主に動作能力の回復を図るための運動療法等を行う。
5. 社会福祉主事は、社会福祉法に規定されており、主に介護老人保健施設に配置され、相談業務を行う。

（正答 1）

保育の心理学

観察法に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 他の研究方法に比べて時間や場所の制約が大きい。
2. 長時間観察をすれば、その分だけ有用な情報が得られる。
3. 客観性や再現性においては、実験観察法よりも自然観察法の方が優れている。
4. 「気になる」子どもの行動観察を行う際には、ある場面を設定して、その場面のみを毎日観察するのがよい。
5. 保育場面においては自然観察法が用いられることが多い。

（正答 5）

子どもの保健

吃音の症状及びその対応についての記述として妥当なのはどれか。

1. 吃音の発症時期は就学前の5歳頃がピークである。
2. 吃音の症状が改善するには一般的には2年程度を要する。
3. 吃音は男児に多く見られ、女児の約3～4倍である。
4. 子どもがちょっとでも詰まったしゃべり方をしたら「もっとゆっくりと話さない」と注意することが必要である。
5. 子どもが上手にしゃべることができたときには褒め、発語に対する意識を強める。

(正答 3)